



Creating the Future with Adhesive Technologies

Linkage + Technology

LINTEC

夢をカタチにする粘着技術のリンテック

会社概要

■社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
■本社	東京都板橋区
■証券コード	7966(東証プライム市場)
■設立	1934年(昭和9年)10月15日
■資本金	233億円(23年3月末)
■従業員数	連結:5,418人(23年3月末)
■売上高	連結:2,846億円(23年3月期)
■事業内容	粘着製品、粘着関連機器、特殊紙、 剥離紙・剥離フィルムなどの開発・製造・販売
■事業拠点	国内連結子会社: 3社 海外連結子会社:38社



1934年 **ガムテープメーカー「不二紙工株式会社」
設立(東京・板橋)**

1960年 **ラベル用粘着紙・粘着フィルムの
製造・販売を開始**

以降、二輪・自動車、屋外装飾関連などの
工業分野に粘着事業を拡大

1984年 **FSK株式会社に商号変更**

1986年 **UV硬化型ダイシングテープを開発し、
半導体関連分野に本格参入**

1987年 **マディコ社(米国)を買収**

1990年 **四国製紙、創研化工と3社合併
「リンテック株式会社」に商号変更**

特殊紙、剥離紙・剥離フィルムから粘着紙・
粘着フィルム、関連機器分野にまで業容を拡大

1991年 **光学ディスプレイ関連分野に本格参入**



- 1994年 リンテック・インドネシア社を設立
- 2000年 リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社を設立
- 2002年 琳得科(蘇州)科技有限公司を設立
リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(韓国)社を設立
- 2003年 リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(台湾)社を設立
- 2004年 リンテック・コリア社を設立
- 2011年 リンテック・タイランド社を設立
- 2016年 マックタック・アメリカ社を買収
- 2021年 デュラマーク社(米国)を買収
- 2022年 スピネカー社(米国)を買収
- 2023年 ラベルサプライ社(カナダ)を買収

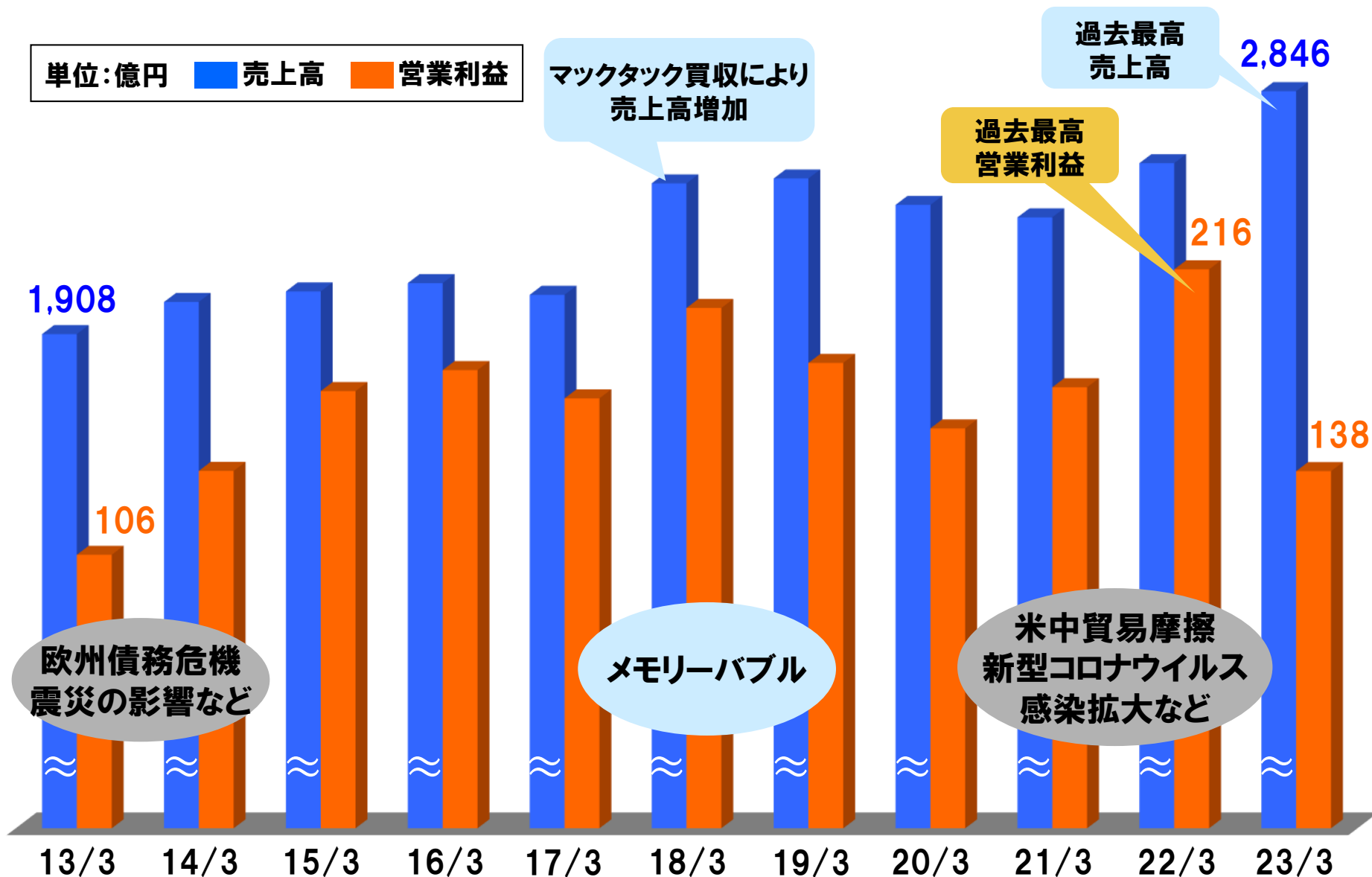


琳得科(蘇州)科技有限公司



マックタック・アメリカ社

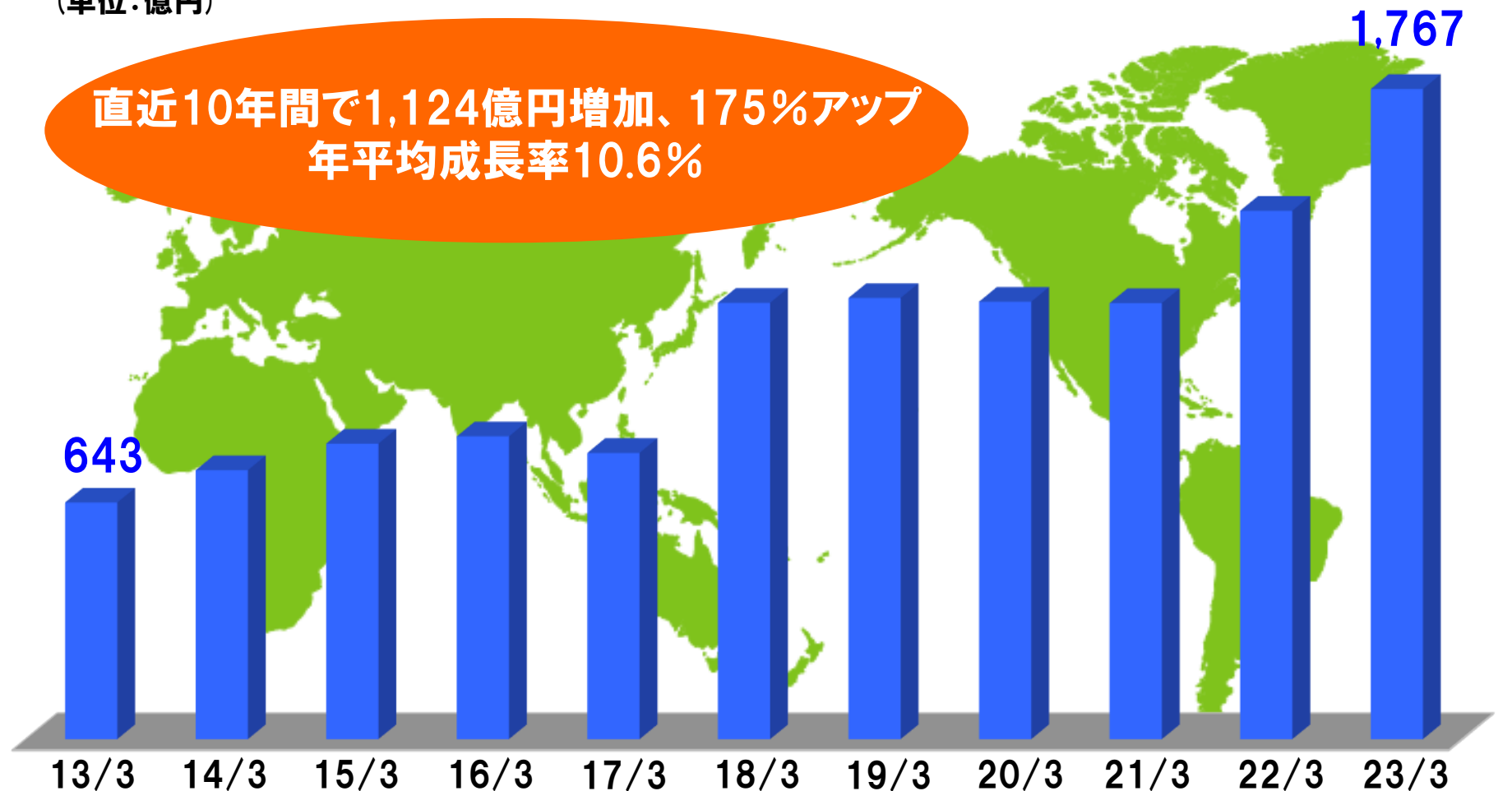
業績推移／売上高、営業利益



業績推移／海外売上高

(単位:億円)

直近10年間で1,124億円増加、175%アップ
年平均成長率10.6%

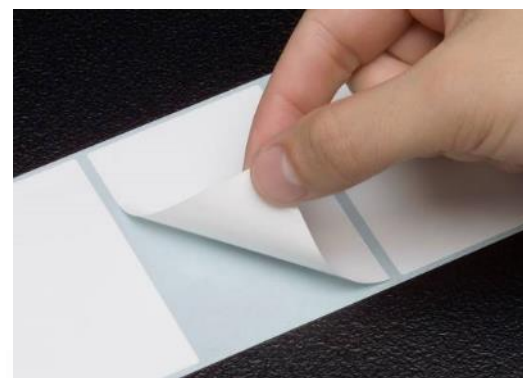


33.7%

海外売上高比率

62.1%

粘着製品の基本構成



① 表面基材（紙・フィルム）

- 表面加工
印刷・印字適性、耐久性など

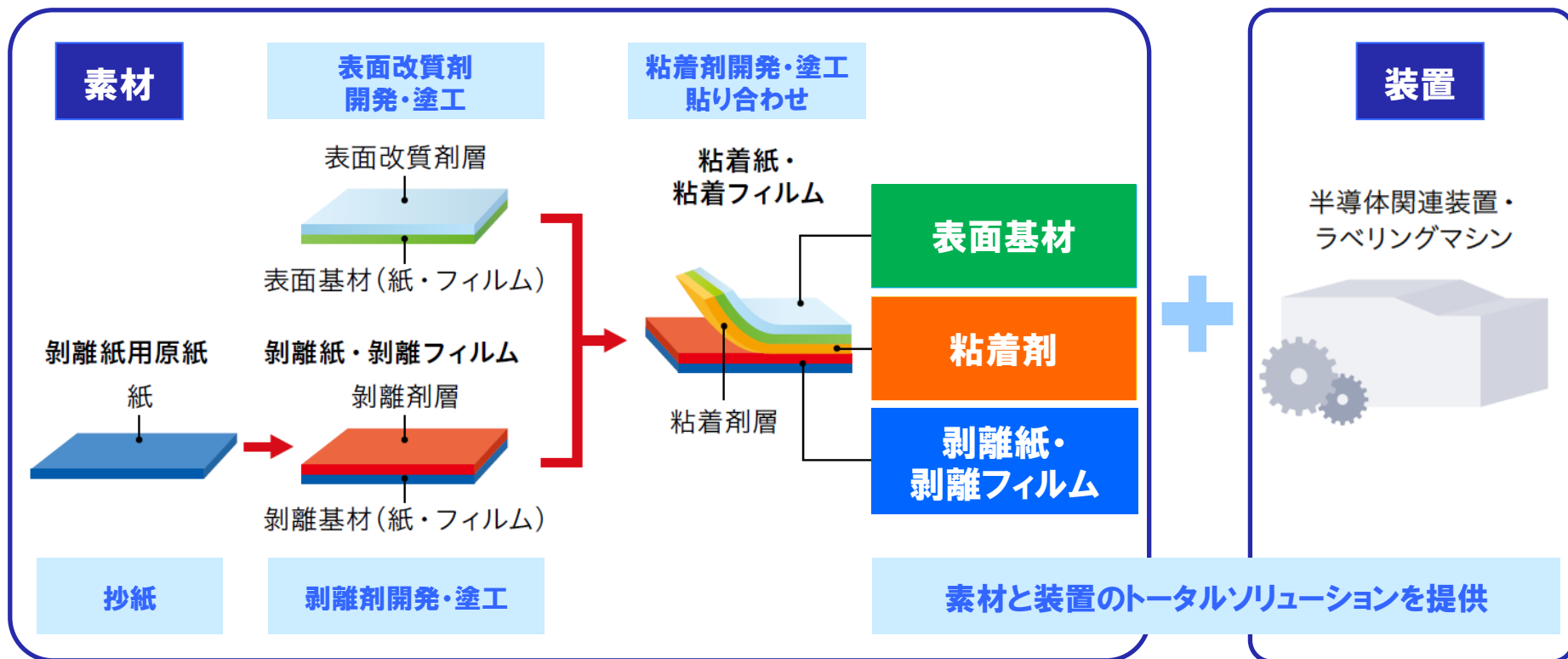


② 粘着剤

③ 剥離紙・剥離フィルム

トータルに自社技術で対応

粘着製品の一貫生産体制



- ・剥離紙用原紙の生産から紙・フィルムへの剥離剤の開発・塗工、粘着剤の開発・塗工、表面基材の改質加工まで、粘着製品の一貫生産体制を構築
- ・粘着製品の特徴を最大限に引き出す関連装置も開発・生産することで、素材と装置のトータルソリューションを提供

四つの基盤技術

1

粘着応用技術

粘着剤、各種基材の開発
およびその複合技術により、
「貼る」「剥がす」という粘着製品の
基本機能の応用領域を拡大

2

表面改質技術

紙やフィルムの表面に
化学的・物理的処理を施すことで
その性能を向上、
または新たな機能を付与

3

システム化技術

機械・装置のシステム化をはじめ、
素材の特性を生かした
高度なシステム構築で
先進のソリューションを提案

4

特殊紙・剥離材製造技術

独自の抄紙技術や塗工・含浸・
貼合技術などを駆使し、
従来の紙の概念を超える機能紙や
高付加価値材を開発

四つの基盤技術と事業セグメント

基盤技術

1

粘着応用技術

2

表面改質技術

3

システム化技術

4

特殊紙・剥離材製造技術

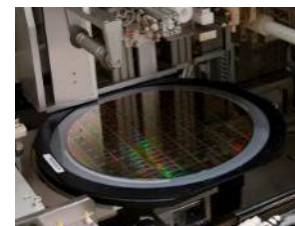
印刷材・産業工材関連

- 印刷・情報材事業部門
- 産業工材事業部門



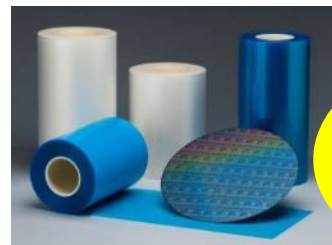
電子・光学関連

- アドバンスドマテリアルズ事業部門
- オプティカル材事業部門



洋紙・加工材関連

- 洋紙事業部門
- 加工材事業部門

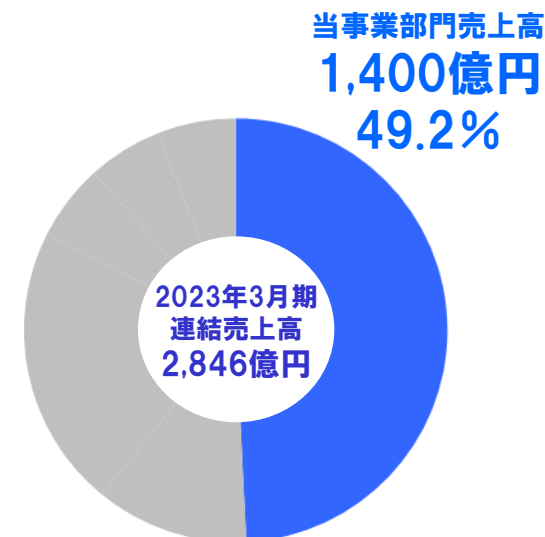


粘着製品
＋
関連機器



●ラベル用粘着紙・粘着フィルム

- 粘着剤によって、永久接着タイプ・再剥離タイプ・再貼付タイプに分けられる
- 印刷・印字適性、耐久性、耐熱性、耐水性、低温適性、曲面貼付性、寸法安定性、意匠性などに優れ、さまざまな用途や使用環境に対応



【商流】 当社 ⇒ シール・ラベル加工会社 ⇒ エンドユーザー



■ラベル用粘着紙・粘着フィルムの用途／主な要求性能



●食品・飲料関連

- ・ 耐水性
- ・ 曲面貼付性
- ・ 低温適性 など



●日用品関連

- ・ 耐水性
- ・ 曲面貼付性
- ・ 意匠性 など



●家電関連

- ・ 耐久性
- ・ 耐熱性
- ・ ガス透過性 など



●自動車関連

- ・ 耐油・耐水性
- ・ 耐久性
- ・ 耐熱性 など



●医療・医薬関連

- ・ 印刷・印字適性
- ・ 耐薬品性
- ・ 改ざん防止機能 など



●流通・通販関連

- ・ 印字適性
- ・ 捺印適性
- ・ 低温適性 など



■マックタック・アメリカ社

- ・北米のラベル用粘着製品市場第3位のメーカーで、同市場への本格参入のため、2016年12月に約340億円で買収
- ・のれん約300億円(10年償却)
- ・生産能力増強のため、2021年4月に同業の**デュラマーク社**を約65億円で買収
- ・事業領域拡大のため、2022年2月に同業メーカーから約45億円で事業を譲り受け、**スピネカー社**を設立

創 業 : 1959年

所 在 地 : 米国 オハイオ州

従業員数: 1,038人 (2022年12月末現在)

事業内容: 印刷用ラベル素材、可変情報用ラベル素材、グラフィックシート、工業用テープ、医療用テープなどの製造・販売

取得価額: 約300百万USD

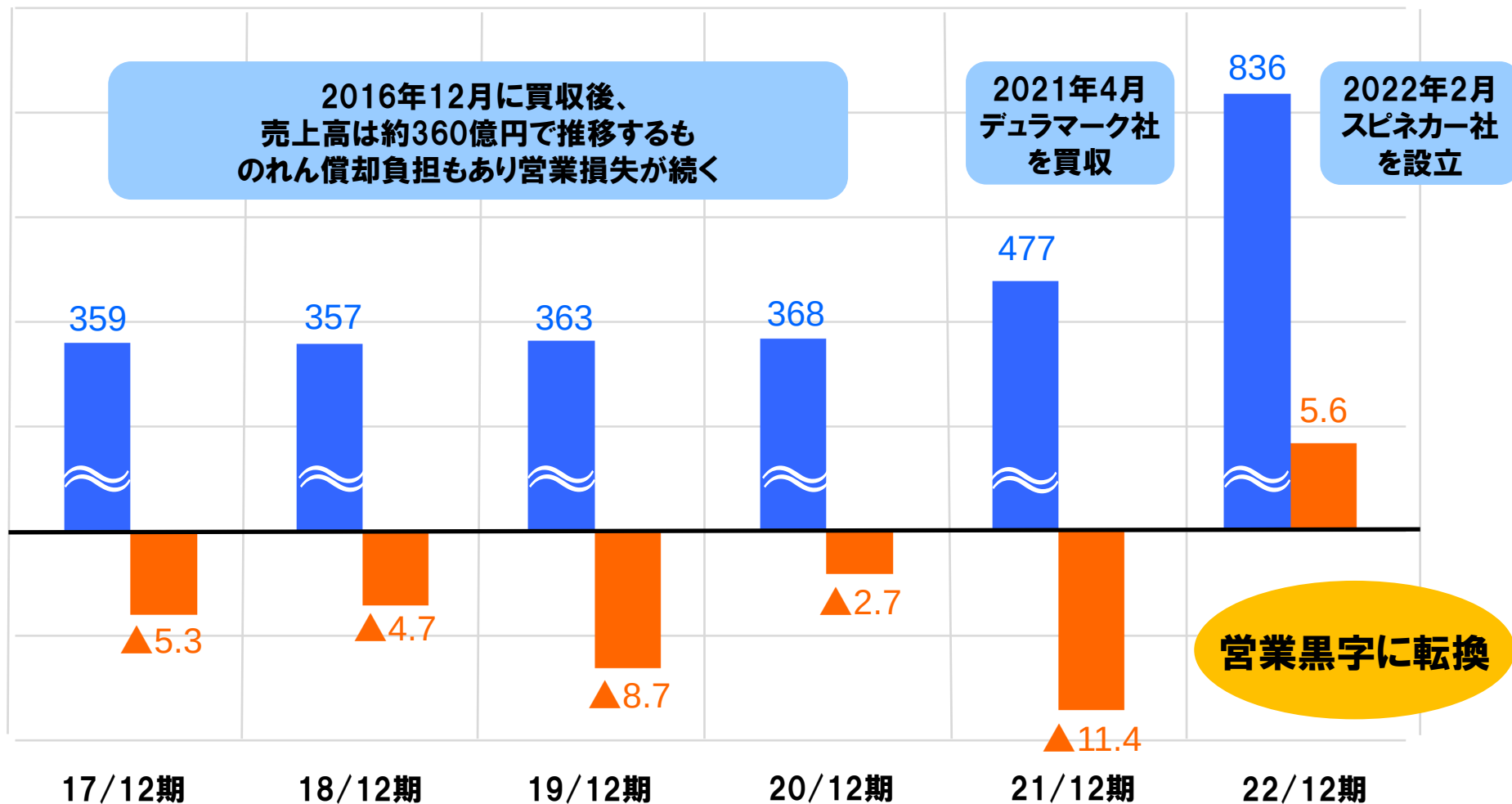
●デュラマーク社 (米国 サウスカロライナ州)

- ・各種粘着剤処方や高速塗工に対応した最新鋭の生産設備を有し、生産能力拡大に貢献(2021年12月に吸収合併)
- ・買収時の売上規模は約80億円
- ・負ののれん約3億円(一括償却)

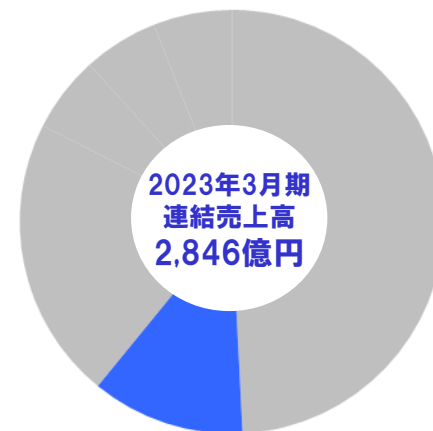
●スピネカー社 (米国 オハイオ州)

- ・多品種少量生産対応などでマックタック・アメリカ社とは異なる分野を得意とし、事業領域拡大に貢献
- ・買収時の売上規模は約130億円
- ・のれん約10億円(10年償却)

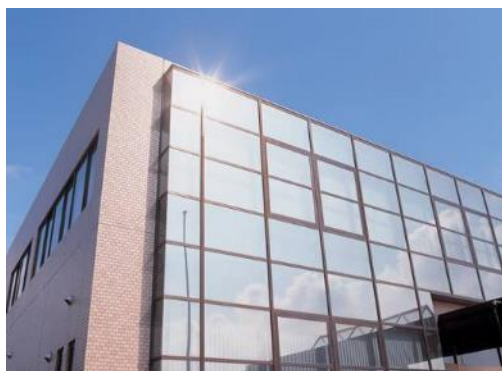
単位:億円 ■売上高 ■営業利益



- ウィンドーフィルム（建物用・自動車用）
- サイン・広告・内装用化粧フィルム
- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン・バーコードプリンタ など



当事業部門売上高
333億円
11.7%



産業工材事業部門の主な製品・特徴

●建物用ウィンドーフィルム



- ・ ガラス飛散防止
- ・ 日射調整
- ・ 紫外線カット など

●ドアサッシ用塗装代替フィルム



- ・ 耐候性
- ・ 施工適性 など

●自動車用ウィンドーフィルム



- ・ ガラス飛散防止
- ・ 日射調整
- ・ 紫外線カット など

●アルミホイール用保護フィルム



- ・ 耐候性
- ・ 再剥離性 など

●サイン・広告・内装用化粧フィルム



- ・ 耐候性
- ・ 施工適性
- ・ 豊富な種類 など

●ラベリングマシン



- ・ 高速・効率化
- ・ 作業性
- ・ 自動化 など

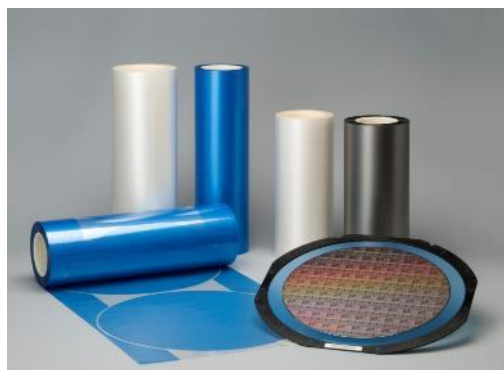
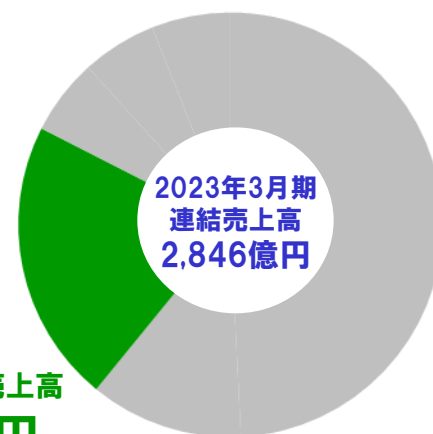
● 半導体関連粘着テープ

- バックグラインドテープ
- ダイシングテープ
- チップ裏面保護テープ
- ダイシング・ダイボンディングテープ

● 半導体関連装置

- テープマウンタ
- テープラミネーター・リムーバー
- UV照射装置

● 積層セラミックコンデンサ関連テープ など

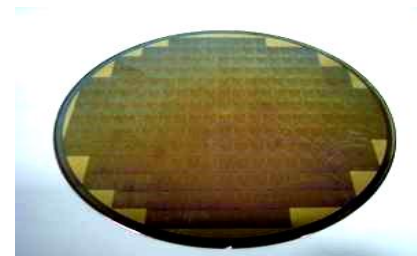


■半導体の製造工程

【前工程】

単結晶シリコン
インゴット

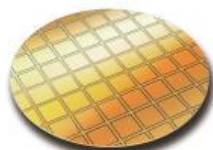
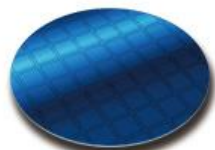
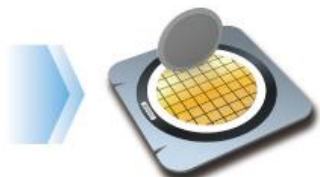
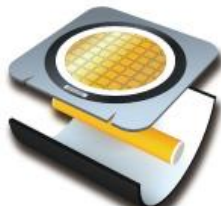
ウェハ



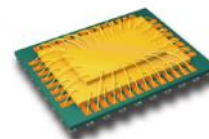
回路形成ウェハ

【後工程】

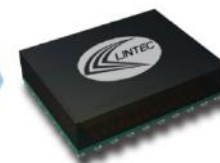
※当社テープ・装置を使用

回路形成
ウェハ表面保護
テープ貼付裏面研削
(薄型化)ダイシング
テープ貼付表面保護
テープ剥離ダイシング
(ウェハ切断)テープへの
紫外線照射

ピックアップ



実装・積層

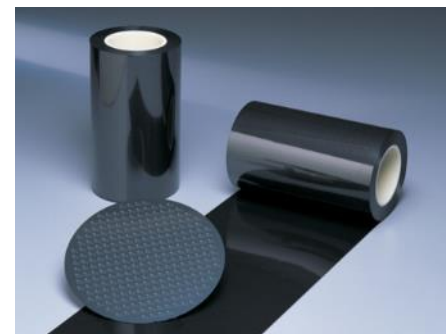


樹脂封止

●半導体関連粘着テープ／注力製品

●フリップチップ裏面保護テープ

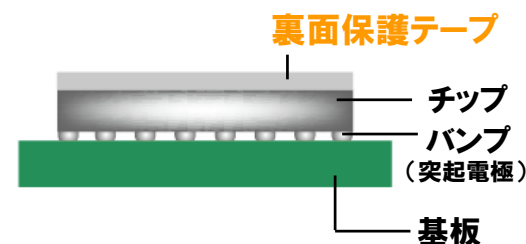
- ・回路面に bumps を形成し、基板に接続するフリップチップの裏面を保護・補強するテープ



【主な特徴】

- ・回路面への光透過を抑制し、回路面への悪影響を低減
- ・液状モールド剤のコーティングと異なり、厚みの均一性に優れ、作業工程を簡略化
- ・比較的低温での貼付が可能のため、熱による回路へのダメージを低減。当社貼付装置と組み合わせることで、より信頼性の高い製造ラインの構築に寄与
- ・ダイシングテープ一体型や赤外線を透過するタイプもラインアップ

■フリップチップ実装



●半導体関連粘着テープ／注力製品

●SDBG用ウェハ表面保護テープ

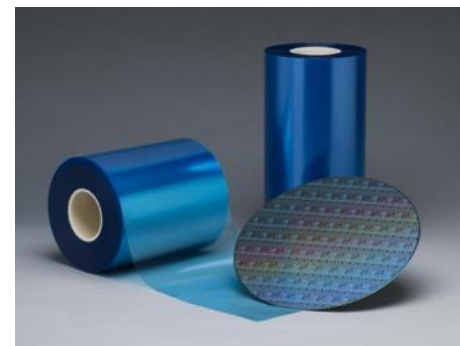
- ・SDBGプロセス*でウェハの裏面を研削する際に回路面を保護するテープ

* SDBGは Stealth Dicing Before Grinding の略で、レーザーでウェハの内部に亀裂を形成したあと、裏面研削を行うプロセス技術。ブレードを使ったプロセスと比べ、1枚のウェハから取れるチップの個数が多く、強度の高いチップの生産が可能

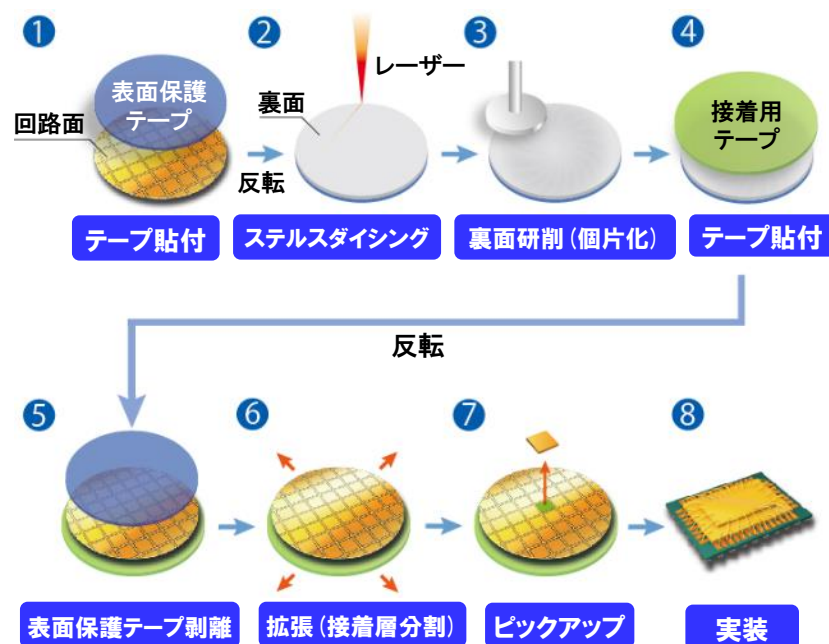
※ ステルスダイシングは浜松ホトニクス(株)が開発したレーザーダイシング技術です

【主な特徴】

- ・高い粘着力でチップの飛散や研削水の浸入を防止
- ・裏面研削時のチップ破損を抑制
- ・厚さ30 μm 以下のチップの製造にも対応

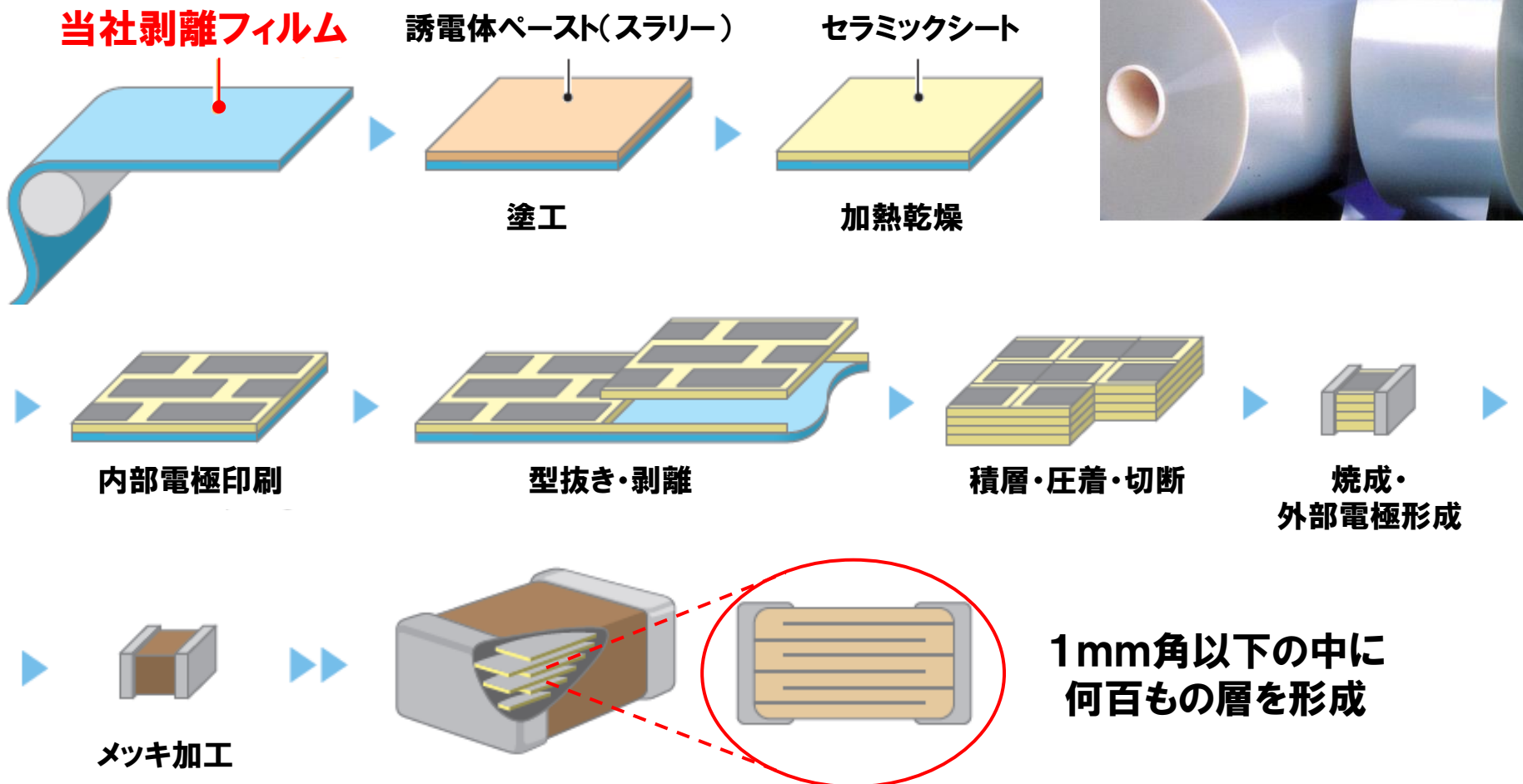


■SDBGを使用した半導体製造プロセス



● 積層セラミックコンデンサ関連テープ

■ 積層セラミックコンデンサの製造工程



● 光学ディスプレイ関連粘着製品

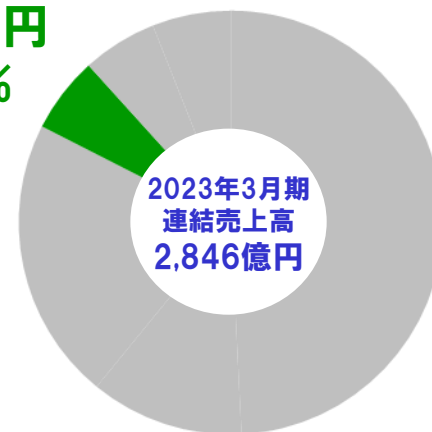
● 偏光フィルム / 粘着加工、ノンキャリア

● タッチパネル関連製品 など

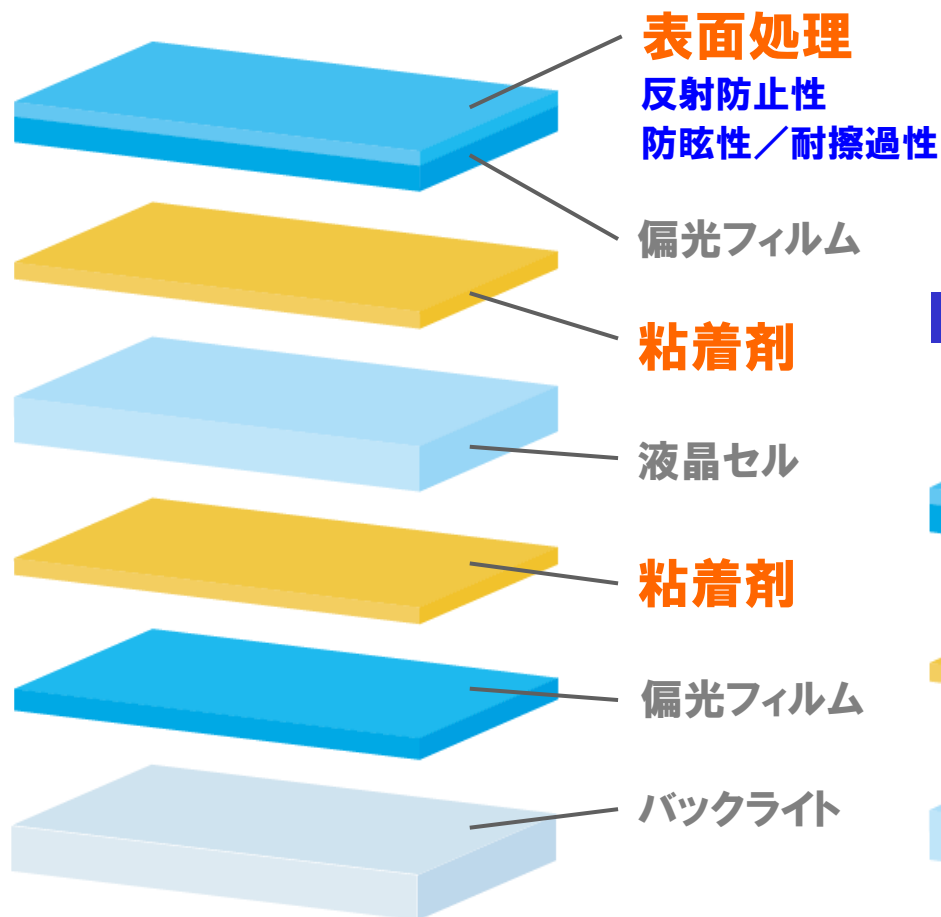
当事業部門売上高

166億円

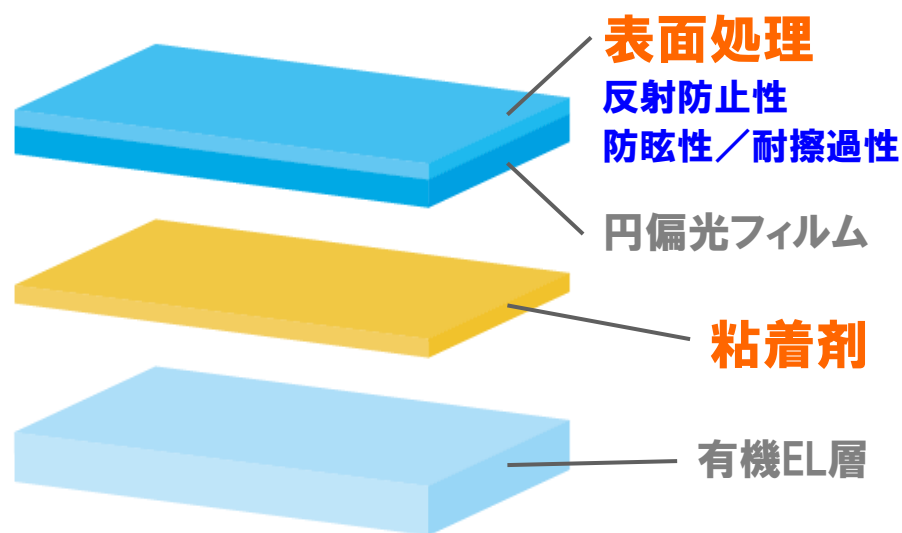
5.8%



■液晶ディスプレイの構成



■OLEDディスプレイの構成



●タッチパネル関連製品／注力製品

●車載用光学粘着シート

- ・車載用タッチパネルの貼合に使用される
高機能光学両面粘着シート

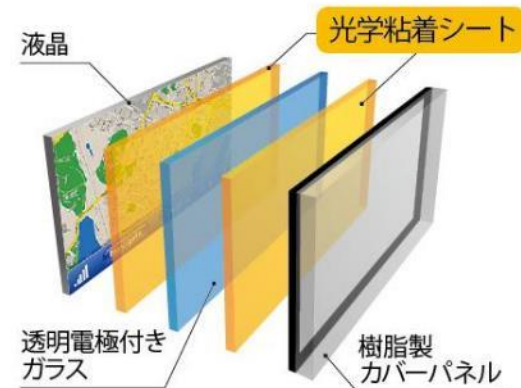
【主な特徴】

- ・車載用途で求められる厳しい耐久性基準をクリア
- ・プラスチック樹脂から発散されるアウトガスを抑制

●光拡散フィルム

- ・入射した光を必要な方向へ効率良く、最適に拡散させる光学機能性フィルム
- ・バックライトを使わない反射型ディスプレイにおいて、従来よりも明るい画面表示を実現

■車載用タッチパネルの構成図



■光拡散フィルムの採用事例



スマートウォッチ



自転車用GPSナビ

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙(耐油耐水紙、無塵紙など)
- 高級印刷用紙
- 建材用紙 など

当事業部門売上高

161億円

5.7%

2023年3月期
連結売上高
2,846億円



- 粘着製品用剥離紙
- 電子材料用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙 など

当事業部門売上高

171億円

6.0%

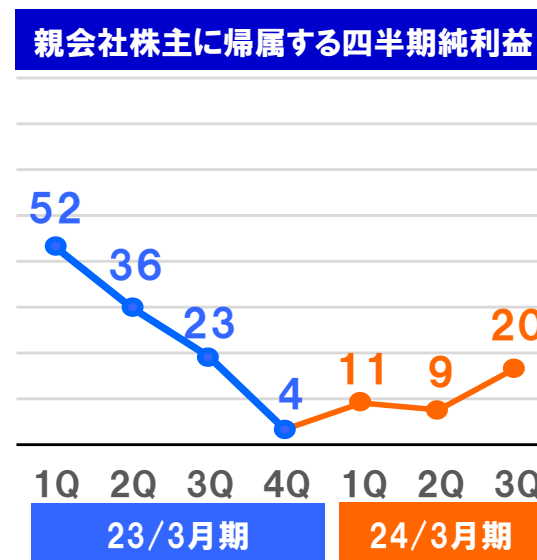
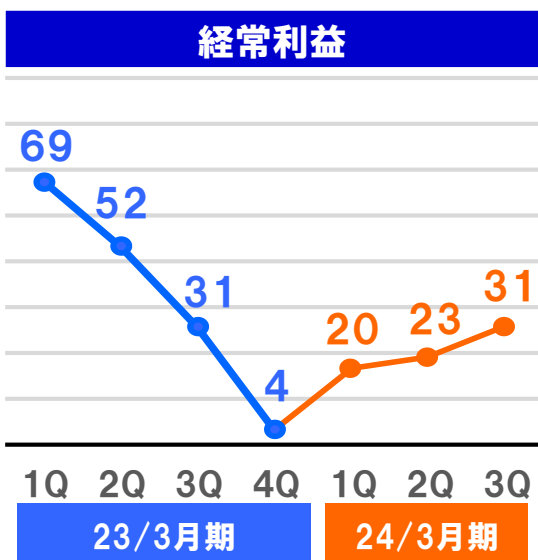
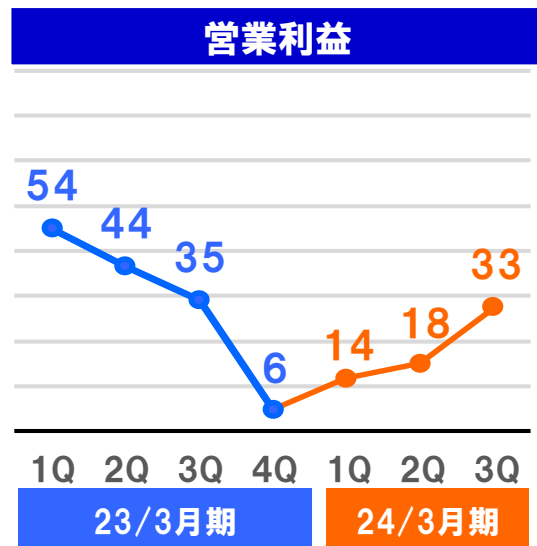
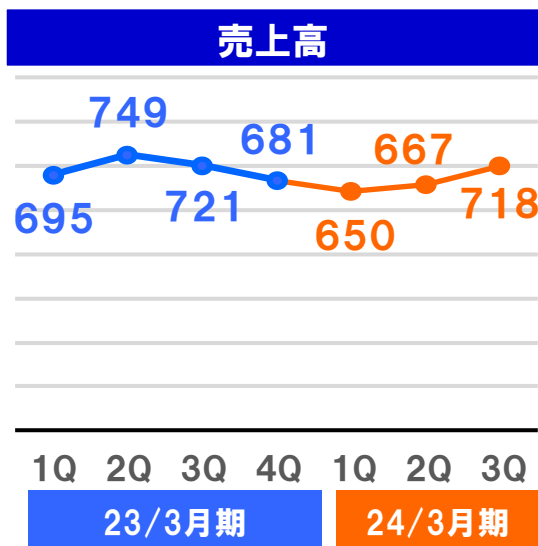


2024年3月期第3四半期 連結業績

(単位:億円)

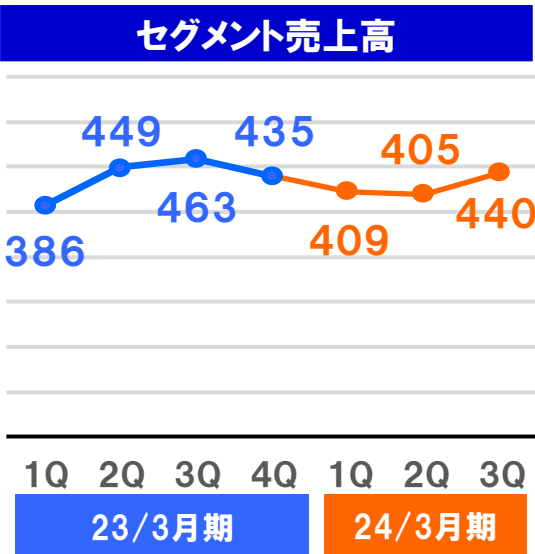
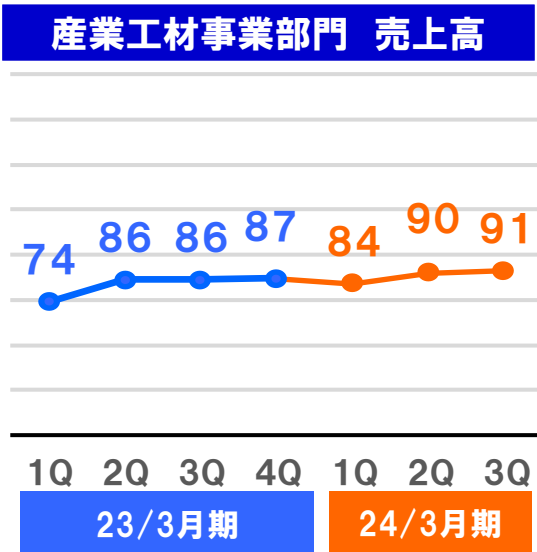
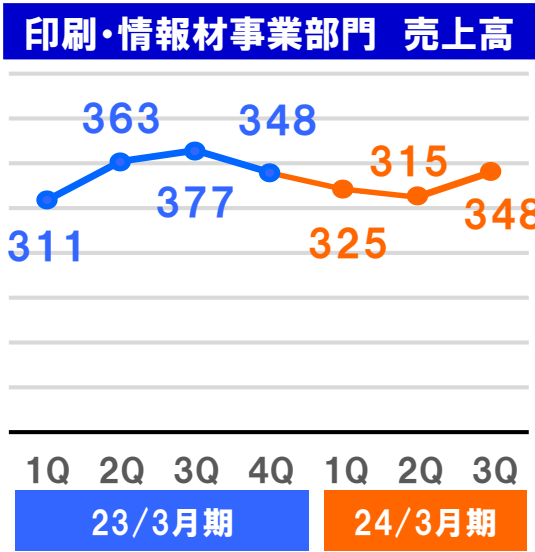
	24/3月期 3Q実績	23/3月期 3Q実績	増減 (増減率)
売上高	2,035	2,166	▲130 (▲6.0%)
営業利益	65	132	▲67 (▲50.8%)
経常利益	74	152	▲78 (▲51.4%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	40	111	▲71 (▲63.9%)

(単位:億円)



印刷材・産業工材関連

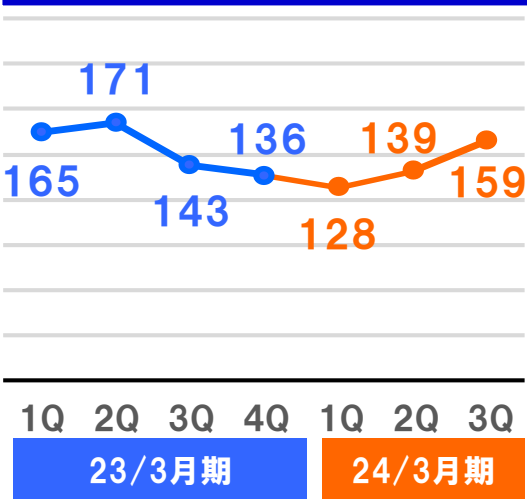
	(単位:億円)		
印刷材・産業工材 関連	24/3月期 3Q実績	23/3月期 3Q実績	増減 (増減率)
印刷・情報材 事業部門	989	1,052	▲63 (▲6.0%)
産業工材 事業部門	265	246	19 (7.6%)
セグメント 売上高	1,254	1,298	▲44 (▲3.4%)
セグメント 営業利益	▲10	27	▲37 (-)



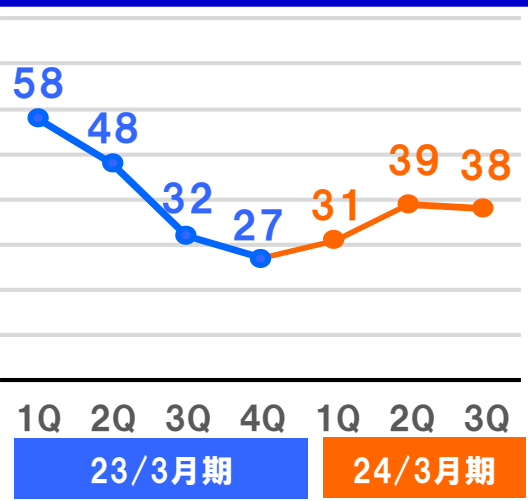
電子・光学関連

(単位:億円)			
電子・光学 関連	24/3月期 3Q実績	23/3月期 3Q実績	増減 (増減率)
アドバンス マテリアルズ 事業部門	426	479	▲53 (▲11.1%)
オプティカル材 事業部門	107	139	▲31 (▲22.7%)
セグメント 売上高	533	618	▲85 (▲13.7%)
セグメント 営業利益	76	115	▲39 (▲33.6%)

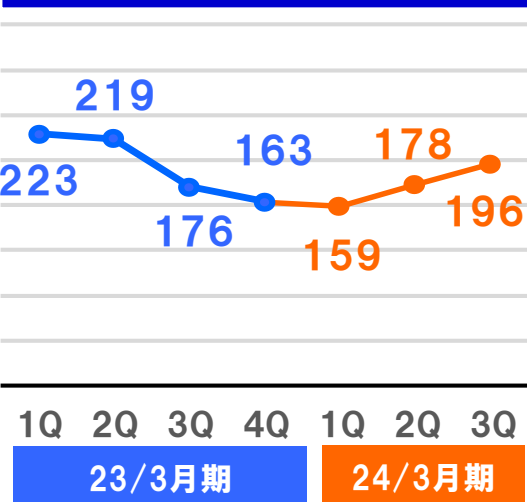
アドバンスマテリアルズ事業部門 売上高



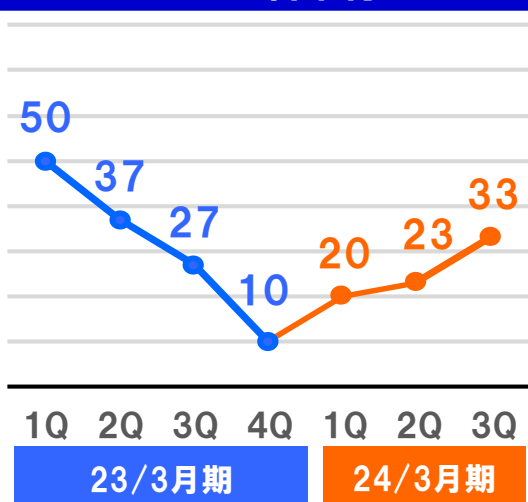
オプティカル材事業部門 売上高



セグメント売上高



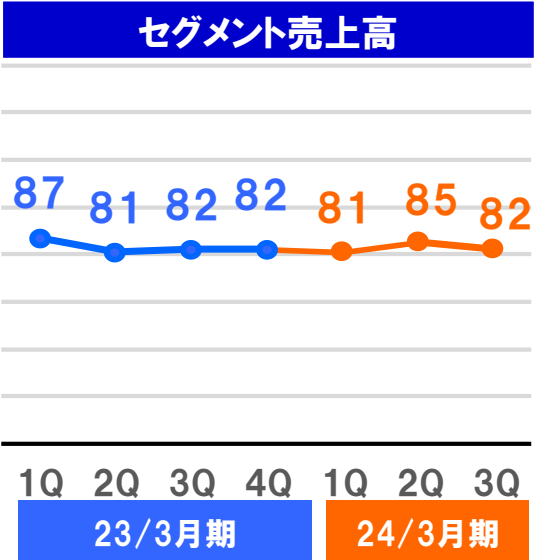
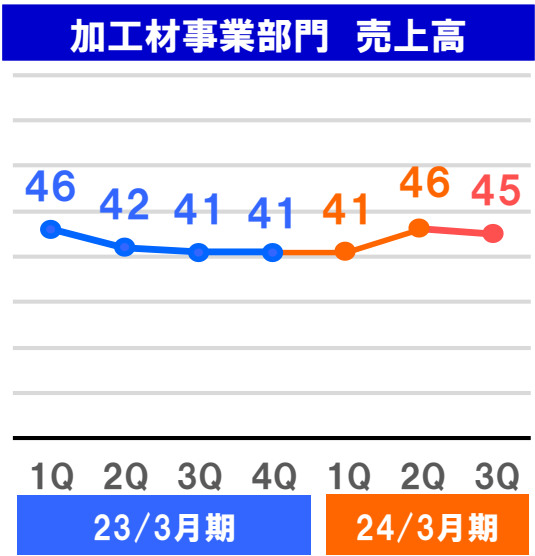
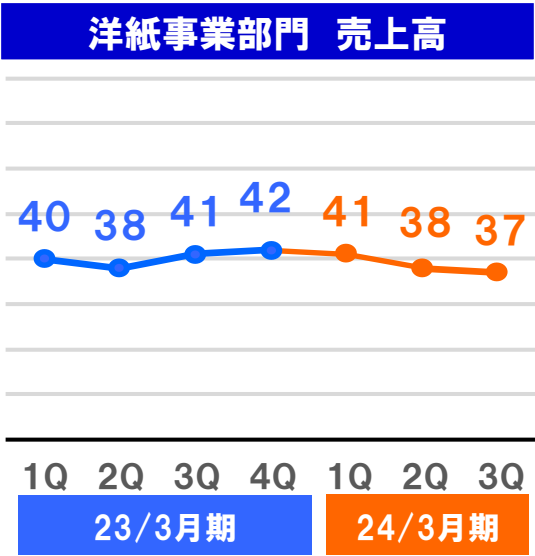
セグメント営業利益



洋紙・加工材関連

(単位:億円)

(単位:億円)			
洋紙・加工材 関連	24/3月期 3Q実績	23/3月期 3Q実績	増減 (増減率)
洋紙 事業部門	116	120	▲ 4 (▲3.4%)
加工材 事業部門	133	130	2 (1.7%)
セグメント 売上高	248	250	▲ 2 (▲0.7%)
セグメント 営業利益	▲ 2	▲10	8 (-%)



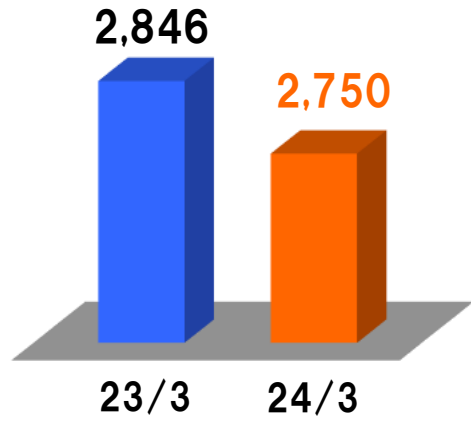
2024年3月期通期 連結業績の見通し

(単位:億円)

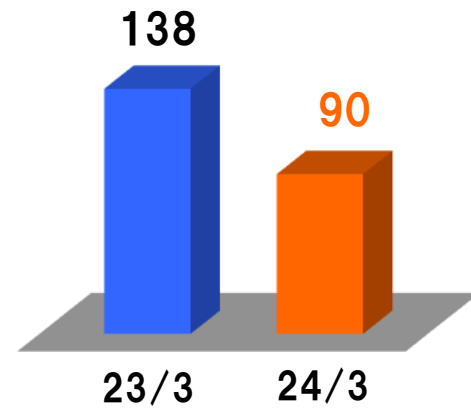
	24/3月期 通期予想	23/3月期 通期実績	増減 (増減率)
売上高	2,750	2,846	▲96 (▲3.4%)
営業利益	90	138	▲48 (▲34.8%)
経常利益	100	156	▲56 (▲35.9%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	55	115	▲60 (▲52.2%)

単位:億円 ■ 実績 ■ 予想

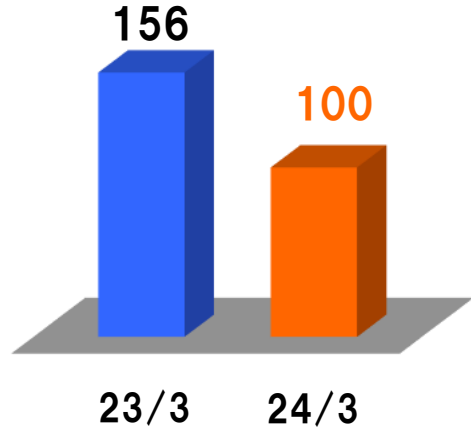
売上高



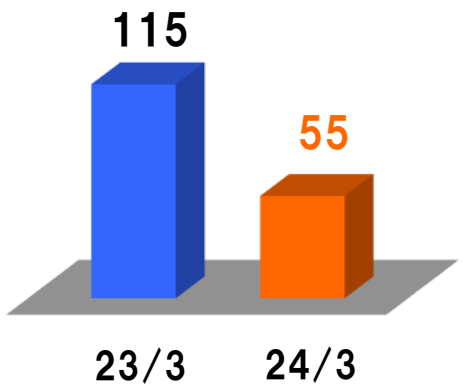
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



2024年3月期通期 セグメント別売上高/営業利益の見通し

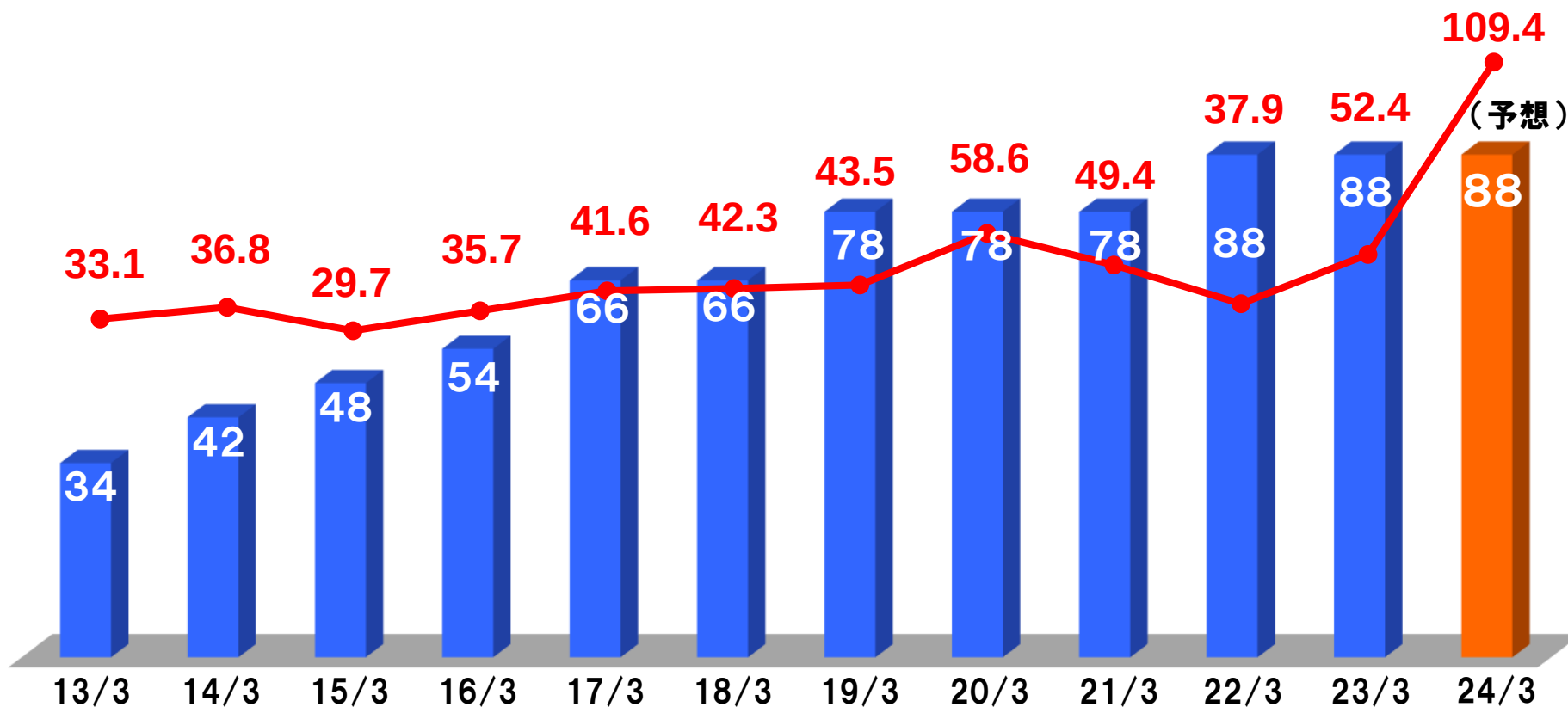
(単位:億円)				(単位:億円)				(単位:億円)			
印刷材・ 産業工材 関連	24/3 通期 予想	23/3 通期 実績	増減 (増減率)	電子・光学 関連	24/3 通期 予想	23/3 通期 実績	増減 (増減率)	洋紙・加工材 関連	24/3 通期 予想	23/3 通期 実績	増減 (増減率)
印刷・情報材 事業部門 売上高	1,352	1,400	▲48 (▲3.4%)	アドバンス マテリアルズ 事業部門 売上高	580	615	▲35 (▲5.7%)	洋紙 事業部門 売上高	156	161	▲5 (▲3.2%)
産業工材 事業部門 売上高	353	333	20 (6.0%)	オプティカル材 事業部門 売上高	134	166	▲32 (▲19.3%)	加工材 事業部門 売上高	175	171	4 (2.5%)
セグメント 売上高	1,705	1,733	▲28 (▲1.6%)	セグメント 売上高	714	781	▲66 (▲8.5%)	セグメント 売上高	331	332	▲1 (▲0.3%)
セグメント 営業利益	▲8	30	▲38 (-)	セグメント 営業利益	105	125	▲20 (▲16.1%)	セグメント 営業利益	▲7	▲17	10 (-)

● 1株当たり配当金推移 (円)

■ 実績 ■ 見通し ● 配当性向 (%)

● 2024年3月期より配当方針を変更

- ・次期中期経営計画「LSV 2030-Stage 2」最終年度である2027年3月期までの4年間は原則として減配しない
- ・配当性向40%以上またはDOE(株主資本配当率)3%を目途に配当を実施





名 称 LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030 (略称: LSV 2030)

期 間 2021年4月～2030年3月

基本方針 イノベーションによる企業体質の強靱化と持続的成長に向けた新製品・新事業の創出を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献する

重点テーマ

1. 社会的課題の解決
2. イノベーションによる企業体質の強靱化
3. 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出

2030年3月期 財務指標

売上高営業利益率

12%以上

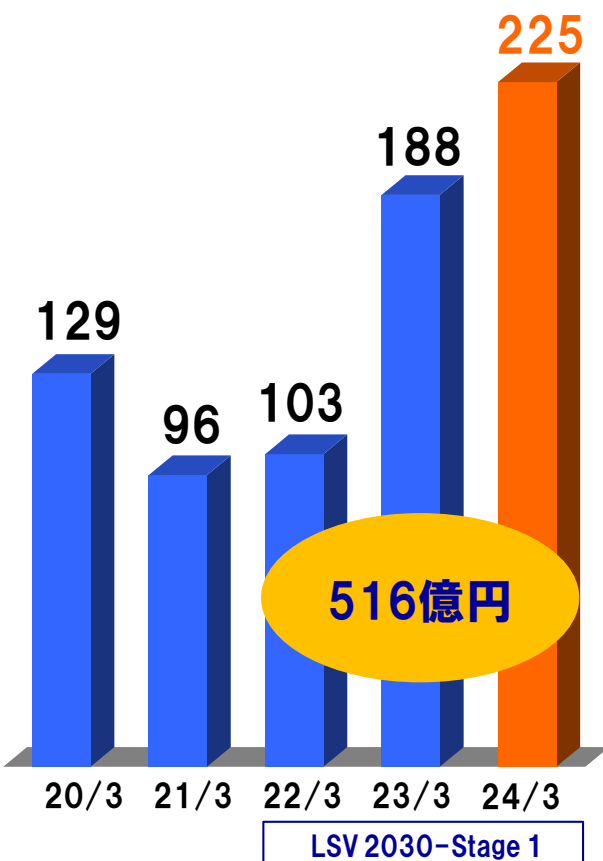
ROE (自己資本当期純利益率)

10%以上

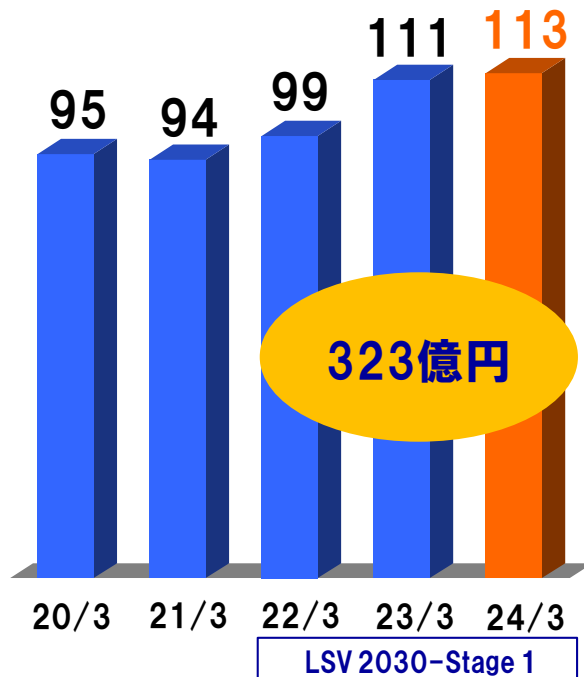
設備投資額・減価償却費・のれん償却額・研究開発費

単位: 億円 ■ 実績 ■ 見通し

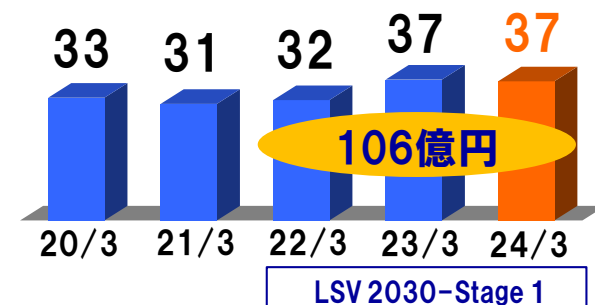
設備投資額



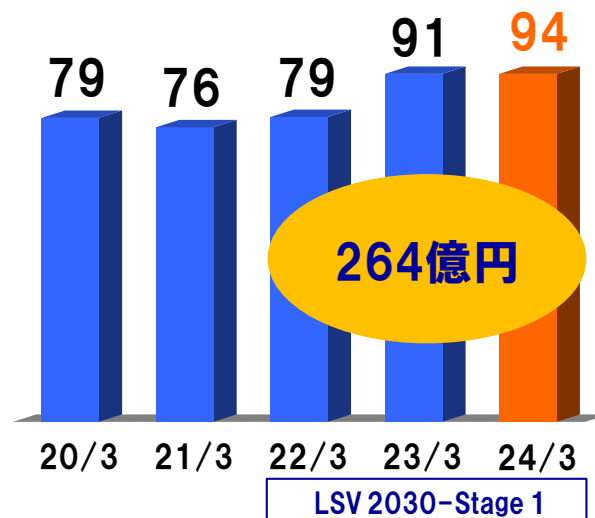
減価償却費



のれん償却額



研究開発費



本資料および当社製品などに関するお問い合わせ先

リンテック株式会社 広報・IR室

〒173-0001 東京都板橋区本町23-23

TEL.03-5248-7741

本資料に掲載されている業績見通しに関する内容につきましては、本資料の作成日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。したがって、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって異なる可能性があります。